

美人画と日本社会

F.S. <社②ゼミ>

1. はじめに

見返り美人図(図1)、ポッピンを吹く女、これらは江戸時代を代表する文化であるとともに、美人画として広く知られている。「美人画」の定義は、「女性を美しく描いた作品、浮世絵からの系譜を継ぐもの」とされている。つまり美人画は江戸時代以降に女性が美しく描かれた絵画である。例えば油絵、水彩、ペン画、デジタルイラストのようなものも美人画に含まれる。こう聞くと美人画に対しての(もし持っていたのならだが)とつつきにくさが消えたのではないか。だが実際「美人画」は「浮世絵」という固定観念が強いことも事実である。

江戸時代初期に美人画が誕生した。菱川師宣、喜多川歌麿はこの時代の美人画家である。この時期の美人画は後の芸術に大きな影響を与え、また大衆の娯楽であった。その後、美人画は西洋の文化を取り入れるなどして発展してきた。そして、日本の重要な文化の一つとなった。なお、外国の美人画は基本的に神話や歴史、伝説、宗教に基づいており、日本の美人画と同じであるとは言い難いため、ここでは探求の対象としていない。

では、江戸時代の美人画と現在の美人画を比較してみよう(図1、図2)。共通しているのは女性が描かれているという点だ。だが、画材や表現しようとしている「美」の基準は全くと言って良いほど違うのがわかるのではないだろうか。美術史学者の菊屋吉生は、「いまの美人画は、写実的とはいいいながらも、明治・大正当時の時代風潮を反映した幻想的、退廃的な日本画とは別物。写真のようだけど決してリアルな絵画ではないし、今という時代の風潮や意識を反映した巧妙に作り上げられた世界です。投影された画家それぞれの理想を見て、ああ、これが現代の若い人たちの表現したい自分なりの象徴化された写実なんだと時代の面白さを感じましたね」

このように美人画は江戸時代と現代で大きく変わっているといえる。この探Qでは時代ごとの美人

画の特徴を調べることで、美人画の変化について考察していく。



図1(江戸) 図2(現代)

2. 整理・分析

美人画は時代により変化していることを示すために、文献から時代ごとの美人画の特徴と、その当時の時代背景との関係を調査した。

表1 時代ごとの美人画の特徴と背景

時代	特徴	背景
江戸 (図3)	大胆な誇張、叙情、版画、商業的要素*1	大衆的な日本文化
明治 (図4)	写実的、西洋的、油絵	西洋文化の流入
現在 (図5)	大胆な誇張*2、イラスト的	一時衰退した後、復興*3
(女性画家) *4	より大胆な誇張、美にシビア	

*1店の広告として看板娘の絵を描くことが多かった

*2輪郭の線がはっきりしていることや目が大きいこと

*3昭和には美人画だけでなく人物画が日本で描き尽くされ衰退していたが、画家の池永康晟らの活動によって復興しつつある

*4時代とは関係がないため今回の考察においては省いた

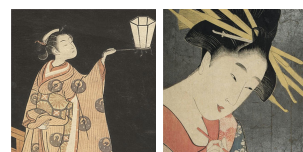


図3



図4



図5

3. 考察

美人画の特徴と変化からその変化の理由を二つの観点をもとに考察した。

①グローバル化、多様性

現在はグローバル化が進むとともに、多様性が認められつつある時代になっていることは、経済の動向や言語、ポリコレなどからもわかる。では、ここから美人画においてもそれらのことが関係しているのではないかと考えた。

まず、表1に示した時代ごとの美人画の特徴と背景より、明治には写実性を重視していたにもかかわらず、現在は江戸時代と同様に大胆な誇張がなされていることがわかる。これはボーダレスになりつつある時代において日本文化が消滅する危機への不安により、明治に西洋文化が重視されていたにもかかわらず、日本文化が再度重視されつつあるためだと考察した。

次に、明治時代のリアルさを追求するという画一的な美を求める風潮から、個々の求める「美」を表現するという価値観の変化が見られることから、多様性が重視される風潮にある現在の社会を反映していると言えるのではないかと考えた。

②技術の進歩

上記したグローバル化や多様性の観点以外では、明治から現在にかけて変わったことは工業的な面でも挙げられる。ここから美人画へ求められる美の価値観の変化を推測した。

まず、昭和において一度衰退した美人画が人気を取り戻している理由は、より大衆に受けやすい萌え絵やイラスト的な要素を含んでいるためであると言える。

次に、明治には写真集の要素を求めて美人画が鑑賞されたいこともあり、リアルな美人画が求めら

れていたのに対して、現在は写真の普及によってグラビア的要素のあった美人画から、リアルさが必要なくなったことも関係しているだろう。そして、現在は書籍の出版やインターネットの発展、個展の増加によって絵画を発表する機会が増加したことで、江戸時代のように特定の絵画の人気が出ることがなくなったことから、大衆を意識する必要がなくなったため、画家も自身の「美」を追求しやすくなったのではないかと考えた。

①②での考察から、美人画の変化は、当時の価値観や技術に基づいていると考えた。

4. おわりに

今回の探究活動で分かったことは、美人画の変化は当時の技術や価値観に基づいているということであつたため、これからも美人画は変化していくと考えられる。

また、今回の研究では女性の描く美人画と男性の描く美人画の特徴や、外国文化との比較は行わなかったため、今後の課題と言えるだろう。

参考文献

- [1] 井上真規子(2018)「現代の美人画は、“あわよくば”という男のリビドーが描かせていた」
<https://www.leon.jp/lifestyle/8119>
- [2] 齋藤 久嗣(2020)「カレーを食べ歩くように鑑賞すべし?!」現代美人画の魅力と楽しみ方【ざらりい秋華洞店主ロングインタビュー】
<https://intojapanwaraku.com/rock/art-rock/93325/>
- [3] 芸術新聞社(2020)「美人画ボーダレス二」芸術新聞社.
- [4] 「浮世絵の美人画は江戸時代の美人のトレンド」(2023)
https://www.google.com/url?sa=t&rct=j&q=&esc=s&source=web&cd=&ved=2ahUKFwiGmZnsrfWDAxW8QPUHHRyKAdUQFnoECBUQAO&url=https%3A%2F%2Fwww.u-can.co.jp%2Fcourses%2Fdata%2Fin_html%2F1538%2Fcolumn%2Fcolumn01.html&usg=AOvVaw04waXqqqNv4IDSCMBMDzQW&opi=89978449
- [5] 日晃堂(2023)「浮世絵の美人画とは？」
<https://nikkoudou-kottou.com/blog/painting/13145>

